実習生受入れ業務支援

日本語学校入学時から対応

ウィルオブ・ワーク
グローバルサポートグループ
横井祐マネージャー

ウィルオブ・ワーク（東京都新宿区）は、介護業界に特化した「技能実習付帯業務サポートサービス」を展開している。同サービスは、監理団体「グローバルキャリア職業訓練法人」のサポートをメインとしている。対象国はミャンマー、現在24名のサポート実績がある。実習生を受入れるために必要な書類準備支援から、ライフライン関連契約の手続き、キャリア形成などを支援する。

同サービスでは、実習生が日本語学校に入学するタイミングから面接に立ち会い、学校側の選考基準だけでなく、介護業務に対する熱意などもヒアリングする。そのため、意識の高い実習生を事業者に紹介できるという。

受入れ前に、施設のスタッフの不安解決や実習生に対する理解を深めることを目的としたセミナーを実施。セミナーでは、受入れるための課題、実習生との接し方などについて解説する。また、受入れ後、実習生が働きやすいようにマニュアルの翻訳、ルビ振りなどを行う。シフトの確認や夜勤状況などの働き方などについての相談にも対応する。

住居に関するサポートでは、配属先周辺の物件選定、ゴミ捨てなどの居住に関するマナーを指導。家具・家電、WiFiやSIMといった通信機器の契約サポートも行う。電気、水道などのライフラインの開通に立会い、契約手続きや支払い方法、注意事項などをレクチャーする。

資格取得もサポート

▲セミナーの様子

キャリア形成では、介護技能評価試験や日本語教育などを支援。日本語教育では、月に1回、監理団体の職員と訪問して、N3レベルの日本語学習や介護用語、介護記録の練習を指導。日常業務の困りごとやメンタル状況などを面談でヒアリングする。1回あたり、日本語教育に45分、面談が15分の60分。また、同社が運営する「WILLOFケアアカデミー」にて初任者研修や実務者研修などの資格取得の支援が可能だ。

グローバルサポートグループの横井祐マネージャーは「監理団体と常に情報共有を行っているため、トラブルが発生しても迅速な対応ができる。また、第3者の立場から実習生の相談に応じることもできる」と話す。

さらに、実習生からの相談を母国語で対応する「言語別相談窓口」を設置。体調不良など、日本での困りごとをサポートする。

料金は目安として1名あたり、月額2万円（税別）から。

横井マネージャーは「地域性を理解したサービスを提供できるように各支店に専属の担当者を配置したい。また、業務提携しているインドネシアの送り出し機関からの実習生に対しても同様のサービスを提供していく予定だ」と語る。